

6 番	原 誠 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
1. デジタル教科書と子どもの学ぶ権利について 【質問趣旨】 本年6月の学校教育法の改正により、紙の教科書だけでなく、デジタル教科書も正式な教科書として位置付けられた。政府はデジタルの利点を生かして教育の質を高めるとしているが、他方で、同じ文章を読む場合には紙の方が理解や記憶に優位だとする研究や、画面中心の学習が深い読解や思考を妨げるおそれを指摘する専門家の声もある。 実際、海外では、学力や読書環境への影響を踏まえ、デジタル化一辺倒を見直し、紙の教科書や紙の読書環境を重視する動きもみられる。たとえばスウェーデンでは、教育のデジタル化を進めてきた一	(1) 導入拡大への認識と本市の現状について (2) デジタル教材使用の課題と対応について	① 本市の小中学校で、デジタル教材やタブレット端末は、主にどの教科・学年で、どの程度使用されているかの概要と、併せてデジタル教科書が正式な教科書として位置付けられた法改正について、本市の今後の方針を伺う。 ① デジタル教材の使用について、児童生徒・保護者・教職員から、本市に寄せられている主な意見や懸念、要望はどのようなものがあるか伺う。 ② デジタル教材の使用が、読解力や思考力、記憶の定着、言語能力の発達に与える影響についてどのように認識しているか伺う。 ③ デジタル教材やタブレット端末の使用時間が長くなることによる、視力低下や姿勢悪化、睡眠への影響、依存傾向など健康面のリスクについてどのように認識しているか伺う。 ④ 授業中および家庭学習におけるタブレット端末やデジタル教材の使用時間や使い方について、本市として共通のガイドラインや目安を設ける考えがあるか伺う。 ⑤ デジタル教材の使用に当たっては、外国籍児童のように日本語が母国語でない児童にも配慮したものとなっているか伺う。 ⑥ 視覚障害など、特別な配慮を必要とする児童生徒のために、デジタル教材の拡大表示や音声読み上げなどの機能をどのように生かしていくのか、今後の方針を伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。

2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。

3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

6 番	原 誠 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
方で、近年では紙の教科書の重要性があらためて見直されている。 本市においてもすでにタブレット端末が導入されているが、現場からは「勉強が嫌いになった」「字がうまく書けない」「タブレット依存気味の生徒がいる」といった不安の声がある一方で、文字拡大や音声読み上げなど、障害や発達に特性をもつ子どもの学びを支える可能性も指摘されている。 子どもの発達と健康、学ぶ権利を守る立場から、紙とデジタルの良さを生かしつつ、子どもと保護者が無理なく選べる仕組みづくりが大切である。そこで本市としての認識と対応について伺うものである。	(3) デジタル格差への対応はどうか。 (4) 紙とデジタルを選択できる仕組みづくりを	⑦ 紙の教科書や紙のノートによる学習の教育的な利点を評価し、今後も児童生徒全員に紙の教材を確保し続ける考えがあるか伺う。 ① 経済的事情などにより、情報機器やインターネット環境を十分に利用できない、いわゆるデジタル格差が社会的課題となっている。本市でもタブレット端末自体は義務教育段階では無償であるが、故障時の費用負担や家庭で使用する際の通信環境の確保については、家庭の経済状況によって差が生じうる。こうした違いがデジタル格差につながらないようにすることが必要だと考えるが、本市における現状と対応を伺う。 ② 教員の多忙化、過重労働が深刻化する中、タブレット端末の導入・運用に関わる実務まで教員が担うことになれば、負担はいっそう増大する。教育の情報化を進めるにあたっては、教員を支える体制整備が不可欠である。ICT 支援員については、少なくとも2校に1人、可能であれば1校に1人の配置をめざすべきと考えるが、本市の現状と方針を伺う。 ① 紙かデジタルか、あるいはその併用など、子どもが学びやすい教科書の形態について、児童生徒と保護者の意向をできる限り尊重する仕組みをつくる考えがあるか伺う。 ② 教員が教科や単元ごとに、紙とデジタルの特性を踏まえた使い分けができるよう、研修や情報提供、事例共有などをどのように進めていく考えか伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。

2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。

3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

6 番	原 誠 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		③今後、デジタル教材の活用が、本市の児童生徒の学力や読解力、学習意欲、健康に与える影響を検証し、必要に応じて活用の在り方を見直す仕組みをつくる考えがあるか伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

6 番	原 誠 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
2. 通学路の安全確保と子どもの命を守るまちづくりについて 【質問趣旨】 子どもの命と安全を守るとは、自治体の最も基本的な責任である。本市でも、通学路の安全対策に取り組んできたが、いまだに歩道が極端に狭い場所や、そもそも歩道が整備されていない区間が残されているのが現状である。 とくに、近年市街化区域に編入され住宅が増えた地域では、交通量の増加に加え、ガードレールや柵のない深い水路が通学路に近接して残っており、転落の危険性が高い箇所も見られる。さらに、人通りが少なく街路灯も少ない場所など防犯上の不安の声も寄せられている。	(1) 安全対策について	①本市の通学路のうち、歩道が極端に狭い、または歩道が整備されていない区間、深い水路や側溝にガードレール等がない区間は、どの程度あると把握しているか伺う。 ②歩道が狭い、または歩道がないために危険とされ、保護者や地域から改善要望が出されている通学路について、これまでどのような対策を講じてきたか、また、改善されず残されている主な課題は何か伺う。 ③歩道整備に時間がかかる区間について、カラー舗装やガードレール、防護柵、ポール設置など、暫定的な安全対策を計画的に進める考えがあるか伺う。 ④住宅や交通量が増えている地域の通学路で、車道・歩行空間・水路が近接している箇所があり、地域住民から改善を求める声が上がっている。子どもの転落事故を未然に防ぐ観点から、優先度を上げて柵や蓋設置などの対策を進める考えがあるか伺う。 ⑤歩道が整備されていても、夏季には草木の繁茂により通行に支障を来す箇所がある。通学路の草刈りや維持管理をどのように行っているのか伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。

2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。

3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

6 番	原 誠 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
「子どもの命最優先」「住民参加」の視点で、計画的かつ緊急度の高いところから安全対策を進めるべきだと考え、現状と今後の方針について伺うものである。	(2) 防犯対策と連携の強化について	①暗く人通りの少ない通学路で防犯上問題のある箇所について、学校・地域・警察とどのように情報共有し、対策を進めているか伺う。 ②通学路の危険箇所について、学校や PTA だけでなく、地域住民や子ども自身の声も含めて、日常的に情報を集める仕組みをどのように整えているか伺う。 ③本市では、全校区でおおむね 3 年に 1 回のペースで通学路点検を実施しているとのことであるが、点検で把握した危険箇所について、その後の対策の実施状況や進捗をどのように管理し、公表しているか伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS 明朝体、12 ポイントで記載する。